令和５年度決算は 約 12 億円の黒字です

境町の収入（歳入）が増加中！

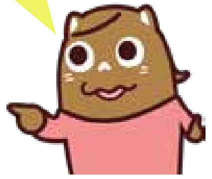
令和５年度の歳入は３４３億５，８６６万円、歳出は３３１億５，３４７万円となり、12億５１９万円の黒字となりました。

町の収入（歳入）が増えているのは、前のページでも紹介した、ふるさと納税や企業版ふるさと納税、太陽光売電、国や県の補助金といった、新たな財源の獲得を積極的に行っているからです。

これに加え、「境町モデル」の公共施設運営により賃料収入を得ていること、ＩＣ周辺開発と企業誘致の結果、企業からの税収が増えたこと、子育て世帯向け移住定住により人口が増えたことで、町民税も増収になり、財政改善に効果が発揮されています。

Q. たくさん建物を作ったり冠水対策工事をやってるのにどうして将来の借金は増えてないの？

A. 境町は今、できるだけ借金をせず、補助金と今あるお金で事業を行い、将来の借金を増やさない、そして使ったお金は、家賃収入で回収する工夫をしています。それが「境町モデル」です。



もっと詳しく 境町モデルの施設

令和６年１月30日完成 うなぎの加工工場「S-Lab 4th（エス ラボ フォース）」

「S-Lab 4th」の施設整備にかかった事業費は約４・４億円で、そのうちおよそ73％、約３億２千万円は国の交付金を活用したため、実際に町が使ったお金は約27％ですみました。さらに、「S-Lab 4th」は、施設運営を行う「さかいまちづくり公社」から、月額50万円の家賃をもらっており、１年で６００万円の収入となっています。また「S-Lab 4th」で加工しているウナギがふるさと納税で大人気で、ウナギへの寄付申込額は、これまでに約８．２億円となっており、施設整備のため町が使った約１億２千万円をすでに回収するほどの収入を生み出しています。

S-Lab 4th を建てるのにかかったお金（事業費）

町が使ったお金	国からの補助金
26.8%（1 億 1,886 万円）	73.2%（3 億 2,410 万円）

S-Lab4rd が稼いだお金（R6 年）

家賃収入 月 50 万円 年 /600 万円

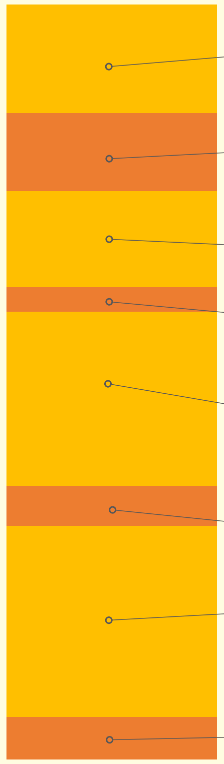
ふるさと納税 1 年で 8.2 億円

１年で投資分を回収！

一般会計 歳入

税金など令和５年度に境町に入ってきたお金のこと

R５年度 343 億 5,866 万円

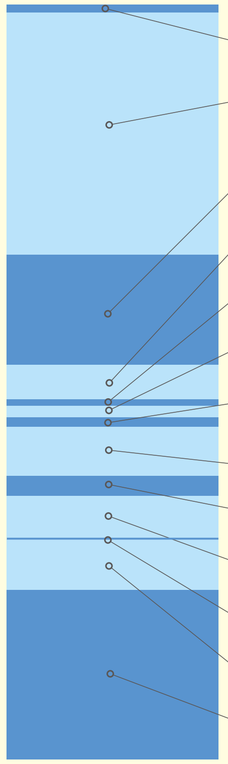


項目	金額	割合	説明
町税	38 億 19 万円	11.1%	町民税、固定資産税、軽自動車税など
各種交付金等	28 億 8,181 万円	8.4%	国や県が徴収した税のうち市町村に配分されるお金
国庫支出金	40 億 3,066 万円	11.7%	国が特定の事業に対して交付するお金
県支出金	8 億 2,879 万円	2.4%	県が特定の事業に対して交付するお金
繰入金	97 億 9,594 万円	28.5%	基金等から繰り入れるお金
繰越金	11 億 7,144 万円	3.4%	施設の整備や地方交付税の収支不足について国や銀行などから借りるお金
諸収入等	108 億 3,018 万円	31.5%	前年度から繰り越したお金
町債	10 億 1,947 万円	3.0%	さまざまな事業の実質負担や財産収入、寄付金など

一般会計 歳出

事業費など令和５年度に境町が支払ったお金のこと

R５年度 331 億 5,347 万円



項目	金額	割合	説明
議会費	1 億 528 万円	0.3%	議会の活動・運営などの経費
総務費	125 億 6,868 万円	37.9%	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、基金などの積立などの経費
民生費	40 億 6,723 万円	12.3%	高齢者、障がい者、児童の福祉、特別定額給付金給付事業などの経費
衛生費	7 億 7,371 万円	2.3%	保健や健康づくり、ゴミ処理、環境対策などの経費
労働費	2,314 万円	0.1%	労働者の福祉向上や雇用の促進などの経費
農林水産業費	8 億 8,597 万円	2.7%	農業の振興や生産基盤の整備などの経費
商工費	3 億 7,939 万円	1.1%	商工業や観光の振興などの経費
土木費	15 億 9,732 万円	4.8%	道路や河川、公園などの整備や管理などの経費
消防費	3 億 9,019 万円	1.2%	消防や救急、消防団活動などの経費
教育費	11 億 2,095 万円	3.4%	学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費
災害復旧費	136 万円	0.004%	災害により被災した施設を復旧するための経費
公債費	9 億 1,690 万円	2.8%	事業を行うために借り入れた町債の返済金
諸支出金	103 億 2,335 万円	31.1%	他の支出科目に含まれない経費